日本国内　自動車解体事業者様向け

Mハイブリッドブースト用バッテリ
取外し・回収マニュアル

対象車種	車両型式
MAZDA CX-60	KH3R3P

マツダ株式会社

2024年7月発行（Ver.1.2）

本マニュアルの内容は予告なく変更する場合があります。

目　　次

1. はじめに

2. Mハイブリッドブースト用バッテリの概要

3. Mハイブリッドブースト用バッテリの取扱い注意

4. Mハイブリッドブースト用バッテリの安全な回収に向けたお願い

5. Mハイブリッドブースト用バッテリの取外し

6. 取外したMハイブリッドブースト用バッテリの保管

7. 取外したMハイブリッドブースト用バッテリの回収依頼

● M ハイブリッドブースト用バッテリの処理については、下記にお問い合わせください。

マツダ株式会社
カスタマーサービスビジネス企画部　リサイクル推進グループ

E-mail　：　Battery_Recyle@mazda.co.jp

受付時間　：　9:00～17:00　（土日、GW、盆休み、年末・年始を除く）

1. はじめに

本マニュアルは、日本国内の自動車解体事業者様向けに作成したものです。
マツダ株式会社が製造する一部の車両には、Mハイブリッドブースト用バッテリが搭載されています。
本マニュアルは、使用済み自動車からのMハイブリッドブースト用バッテリの取外し方法等を記載しております。
Mハイブリッドブースト用バッテリを搭載した車両を処理する場合は、安全確保のため、
必ず本マニュアルに従ってください。
取外したMハイブリッドブースト用バッテリは、一般社団法人自動車再資源化協力機構（以下、自再協と略す）へ回収を依頼してください。

自動車再資源化協力機構（自再協）
LiB事業部　LiB回収グループ
お問い合わせ（TEL）　⇒　0570-000-994
回収依頼　⇒　http://www.lib-jarp.org

＜警告＞
リチウムイオンバッテリパックを搭載したままで車両のプレス、シュレッダー等を行なうと、バッテリパックから発熱・発火・発煙・破裂などのおそれがあります。

- 平成24年（経済産業省・環境省）省令第1号により、使用済み自動車の再資源化等に関する法律（通称：自動車リサイクル法）施行規則が2012年2月1日に改正、施行され、事前回収物品に「リチウムイオン電池」と「ニッケル・水素電池」が追加されました。詳細は、使用済自動車の再資源化等に関する法律 第16条第2項及び同施行規則第9条第2号 をご参照願います。

- 本マニュアルの内容全部または一部を無断で複製、複写、転載、公衆送信（インターネット上のネットワーク配信サイト等への配布等を含みます）、貸与、翻訳、翻案、改変することを禁止します。このような不正使用行為は、刑事罰の対象及び民事上の損害賠償の対象となります。

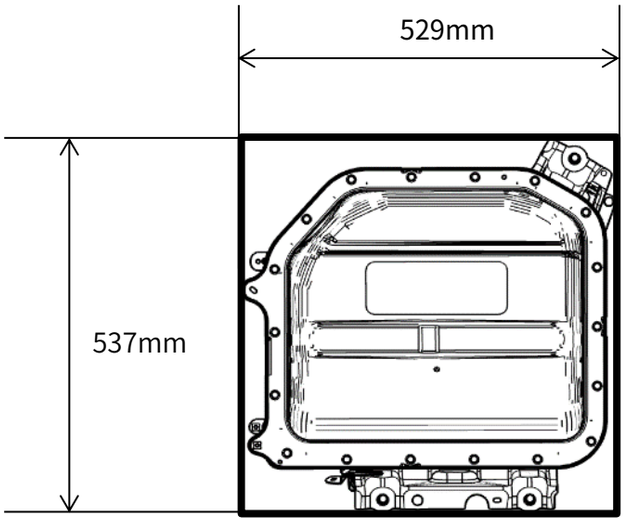
2. Mハイブリッドブースト用バッテリの概要

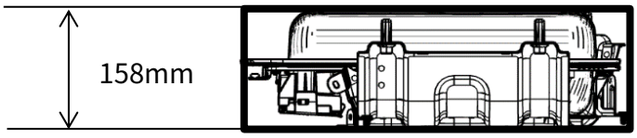
● 仕様

項目	仕様
パック構成	直列12セル
公称容量	7.5 [Ah]
公称電圧	44.4 [V]
質量	15.3[kg]
外形寸法	W 529×D 537×H 158 [mm]
電解液量	440 [ml] 以下

● 外観

バッテリサイズは筐体端から筐体端までを表します。





3. Mハイブリッドブースト用バッテリの取扱い注意

- はじめに
  - Mハイブリッドブースト用バッテリに、変形、液漏れ、発熱が発生していない場合では危険有害性はありません。
  - Mハイブリッドブースト用バッテリの電解液は強酸性です。電解液が漏れ出して、蒸気を吸い込んだり、目、皮膚、に付着した場合は、以下の応急処置を行ってください。
    - 電解液の蒸気を吸入した場合
      電解液の蒸気を吸い込んだ場合は、吐き気や呼吸困難を引き起こす恐れがあります。被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動させて、気分が悪いときは直ちに医師の診断を受けてください。
    - 電解液が皮膚に付着した場合
      多量の水と石鹸で洗い流してください。かゆみや炎症等の症状がある場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
    - 電解液が目に入った場合
      流水で最低15分間洗顔した後、直ちに医師の手当てを受けてください。
    - 電解液を飲み込んだ場合
      水で口の中をよく洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

- 携行禁止品
  - Mハイブリッドブースト用バッテリ関連部品が短絡して、火花 / 火災の発生及び部品の損傷につながるおそれがあるため、以下の金属製品は取外して作業してください。
    - 金属製のスケール、シャープペンシルなど
    - アクセサリ（ネックレス、指輪、ピアス、イヤリングなど）

- Mハイブリッドブースト用のバッテリの取扱いについて
  - Mハイブリッドブースト用バッテリは基本的に充電された状態です。スパークや発火、電解液が漏れるおそれがあるため、Mハイブリッドブースト用バッテリの取扱い時は以下に注意してください。
    - 破損させるような衝撃を与えないでください。
    - 分解しないでください。
    - 外部電源を使用して充電/放電しないでください。
    - 端子部は、絶縁テープを貼り絶縁してください。端子カバーがある場合は、端子カバーが外れないように絶縁テープで固定して保管してください。
  - 取外し作業をされる際は、ゴム靴・ゴム手袋を着用して作業を行ってください。感電するおそれがあります。

● 火災時の措置

- バッテリが発火もしくは着火した場合の初期消火は、以下を使用して消化してください。
  - ー 多量の水（塩類を含まない水道水や井戸水）
    海水は有毒な塩素が発生する可能性があるので、使用しないでください。
  - ー 二酸化炭素消火器
    換気の悪い狭い場所での二酸化炭素消火器の使用は窒息の危険があるので、ご注意ください。
  - ー 粉末消火器

※ 強化液消火器は絶縁性を低下させるため、場合によっては被害拡大の可能性があるため、
使用しないでください。

- バッテリからバッテリへの延焼がおこる様な火災拡大の場合は、多量の水を連続的に放水して
  消化してください。
- 消火作業の際には、バッテリから発生するガスを吸い込まないように風上から消火作業を行ってください。
  呼吸用保護具を着用して消火活動することが望ましいです。
- 火災時はバッテリも含む周囲の可燃物を直ちに取り除いてください。
- 周辺火災の場合はバッテリを可能な限り安全な場所に移動させください。

● 漏出時の措置

- 異常により電解液が漏出した場合、次の措置を行ってください。
  - ー 取扱い時には有機ガス用防毒マスク、ゴム手袋(耐油、 絶縁)、
    安全靴(静電気防止)保護メガネを着用してください。
  - ー 換気を行い風上から作業してください。
  - ー 布または紙で電解液を拭き取ってください。
  - ー 火気（静電気を含む）を近づけないでください。

4. Mハイブリッドブースト用バッテリの安全な回収に向けたお願い

- 事故車、冠水車等ではMハイブリッドブースト用バッテリパックに変形、割れ、漏電、液漏れ等が発生している可能性があり、短絡等により発煙・発火・感電等の事故に至るおそれがあります。
  - そのような車両からMハイブリッドブースト用バッテリを取り外す際、または、事故車等でMハイブリッドブースト用バッテリが取り外し不可能な場合等は自再協まで連絡してください。

- 取外し作業を行なう前に、必ず鉛バッテリーの接続を外してください。
  - 鉛バッテリーの接続を外さずに作業した場合、短絡等により発煙・発火・感電等の事故に至る可能性がありますので、Mハイブリッドブースト用バッテリの取外し作業に先立って必ず鉛バッテリーの接続を外してください。

- Mハイブリッドブースト用バッテリ内に封入されている電解液は、消防法の危険物第4類第2石油類非水溶性液体に該当します。
  - Mハイブリッドブースト用バッテリ取り外し後は、本マニュアル『6.取外したMハイブリッドブースト用バッテリの保管』内の「1)消防法に関する注意事項」に記載の短絡防止、液漏れ防止の処置を行ない、分解せずに保管ください。

- Mハイブリッドブースト用バッテリの放置・廃棄・流用・改造・分解や転売・譲渡等をしないでください。
  - 不適切に放置・廃棄されたMハイブリッドブースト用バッテリに触れた場合や、対象車両や用途以外への流用、改造、分解等を行なうと、感電、発煙、発火、発熱、爆発や電解液漏れ等の事故発生のおそれがあります。また、転売・譲渡により、相手先で上記の危険性が認識されず、事故発生の可能性が高くなります。

高電圧（駆動用）バッテリの流用/改造/分解に起因する事故/損害等及び放置/廃棄/転売/譲渡後に発生した事故/損害等については、マツダ株式会社は一切責任を負いかねます。これらの行為を行なった事業者の責任が問われる可能性があります。

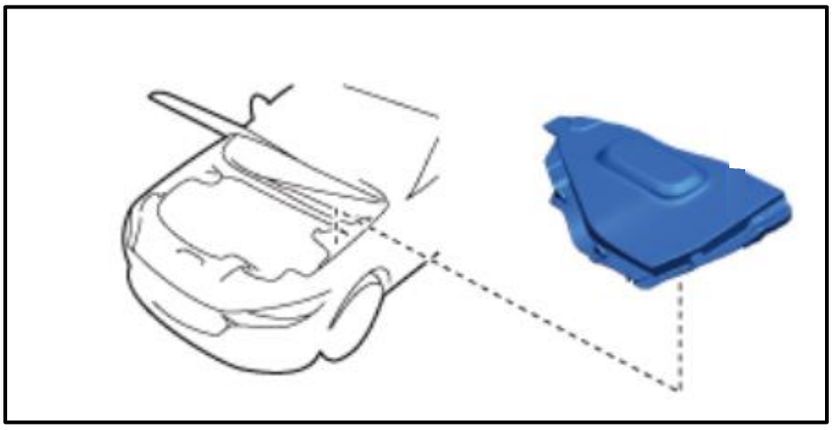
- 車両からMハイブリッドブースト用バッテリを取外した後は、速やかに自再協へ回収を依頼していただき、安全な回収にご協力をお願いします。

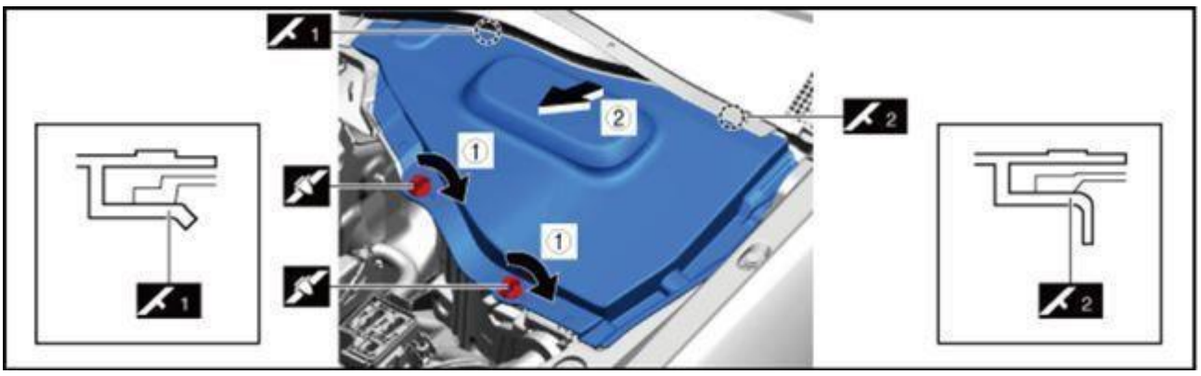
自動車再資源化協力機構（自再協）
LiB事業部　LiB回収グループ
お問い合わせ（TEL）　⇒　0570-000-994
回収依頼　⇒　http://www.lib-jarp.org

5. Mハイブリッドブースト用バッテリ取外し

(1) エンジンスイッチをOFFにする。

(2) 助手席側カウル・グリル・カバー図の示す手順でを取外す。

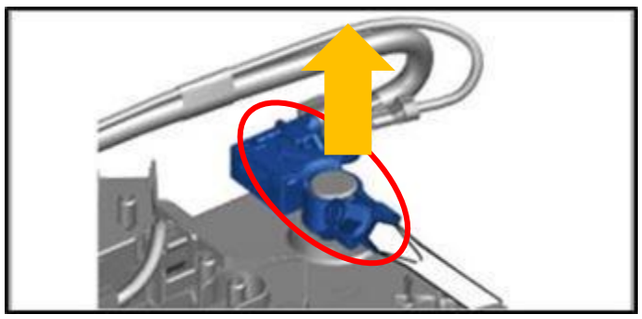




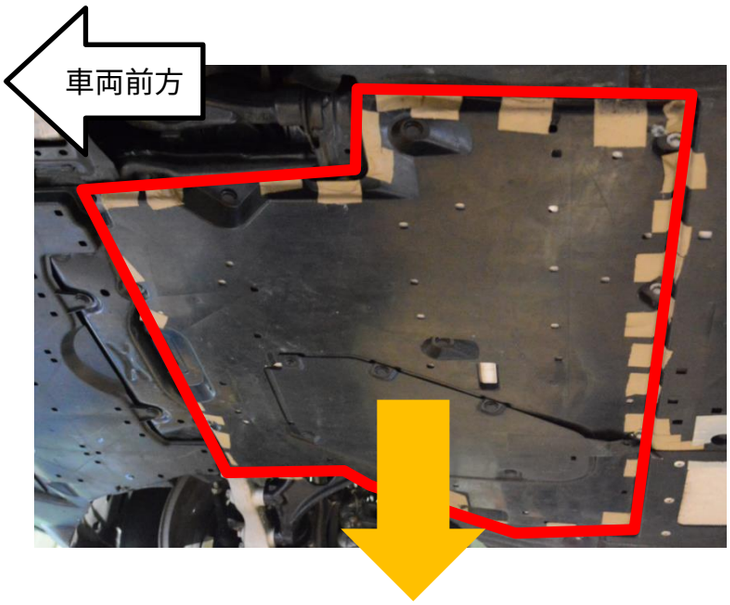
(3) 冷媒を回収する。

(4) バッテリ(ー)端子を取外す。

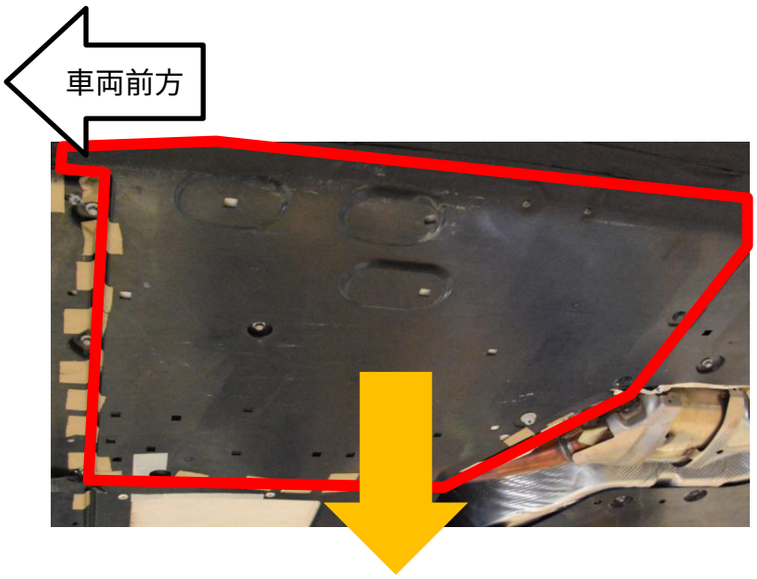
- 塑性変形したバッテリ(-)端子を切離す際は、マイナス・ドライバでバッテリ(-)端子の隙を拡大させて取外す。



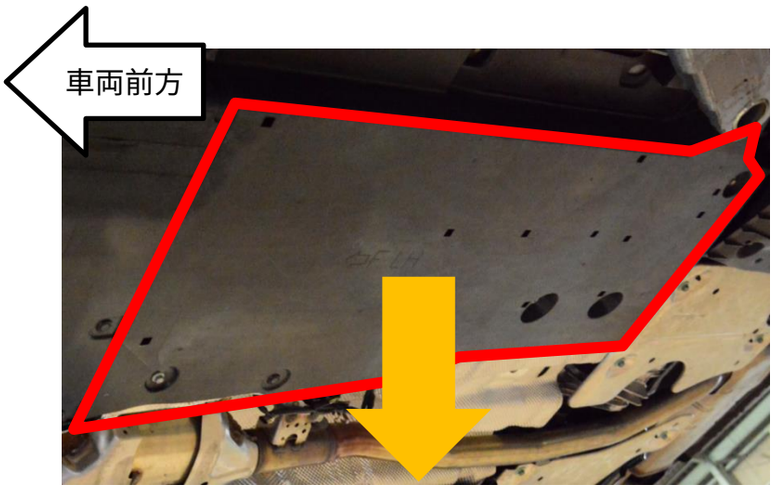
(5) フロント・アンダーカバーを取外す。



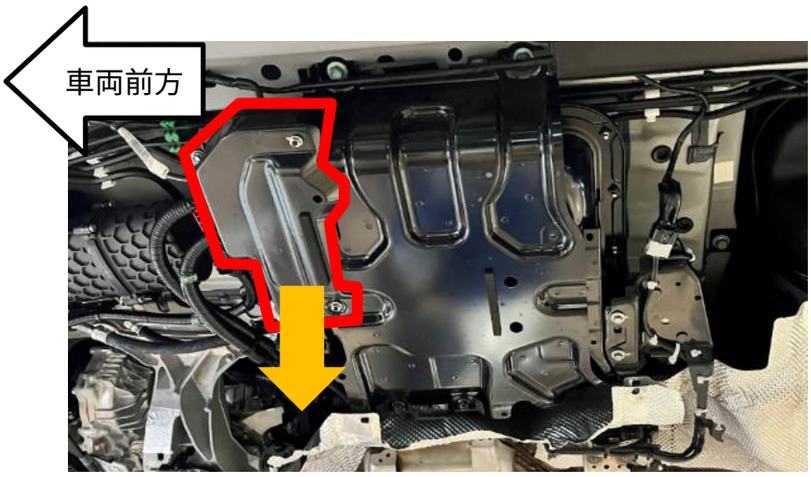
(6) フロア・アンダーカバー（左側）を取外す。



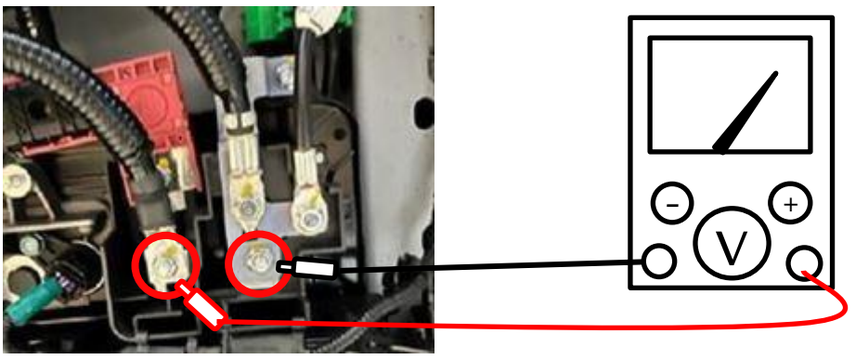
(7) リア・アンダーカバー（左側）を取外す。



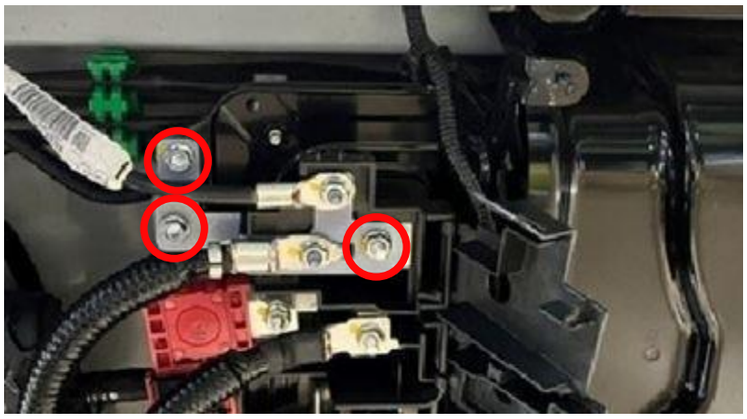
(8) 絶縁手袋を着用し、絶縁工具でグランド・プレート・ターミナル・カバーを取外す。



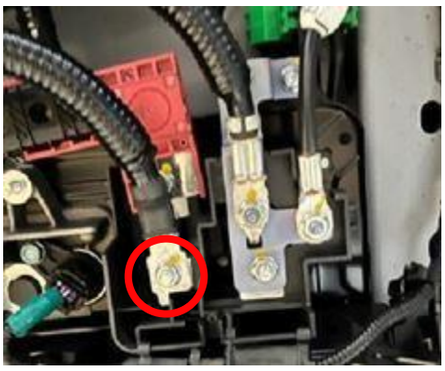
(9) ターミナルカバーを開け、電圧がかかっていないことを確認する。



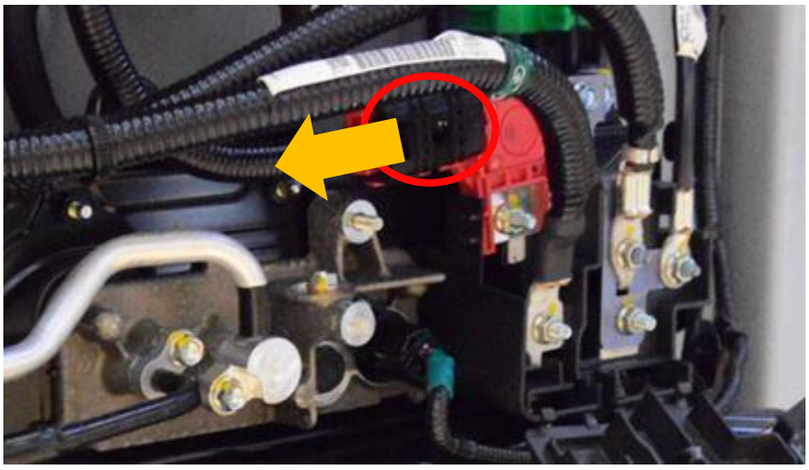
(10) 絶縁手袋を着用し、絶縁工具でグランド・プレートを取外す。



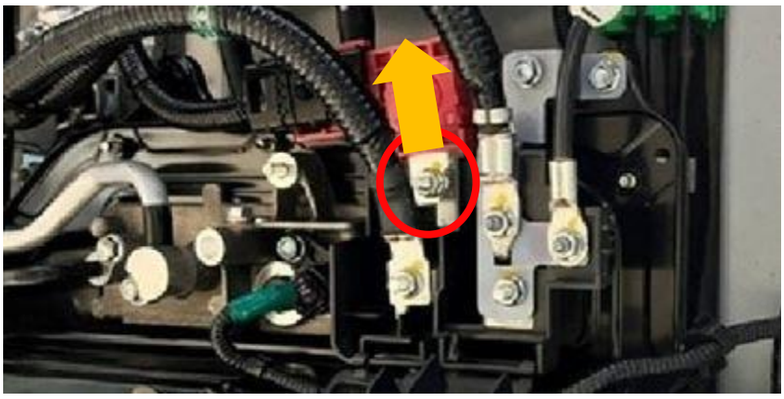
(11) 絶縁手袋を着用し、絶縁工具でプラス端子を取外す。



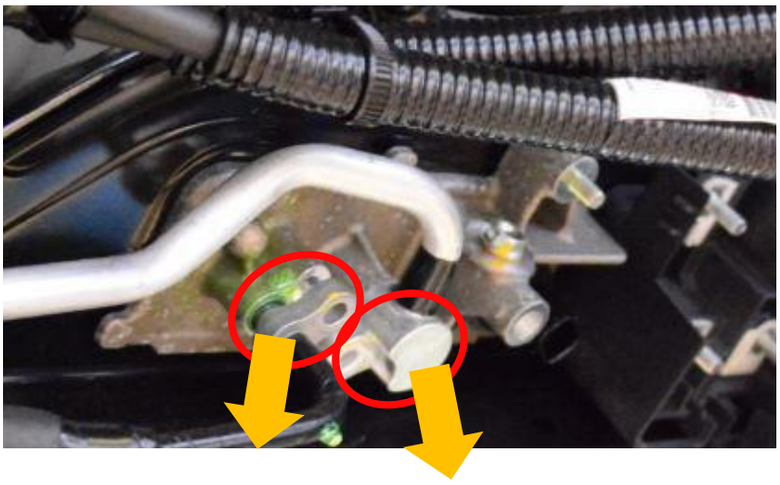
(12) 絶縁手袋を着用し、フロントコネクタと付属のハーネスクリップを取外す。



(13) 絶縁手袋を着用し、絶縁工具でフューズと付属のハーネスクリップを取外す。

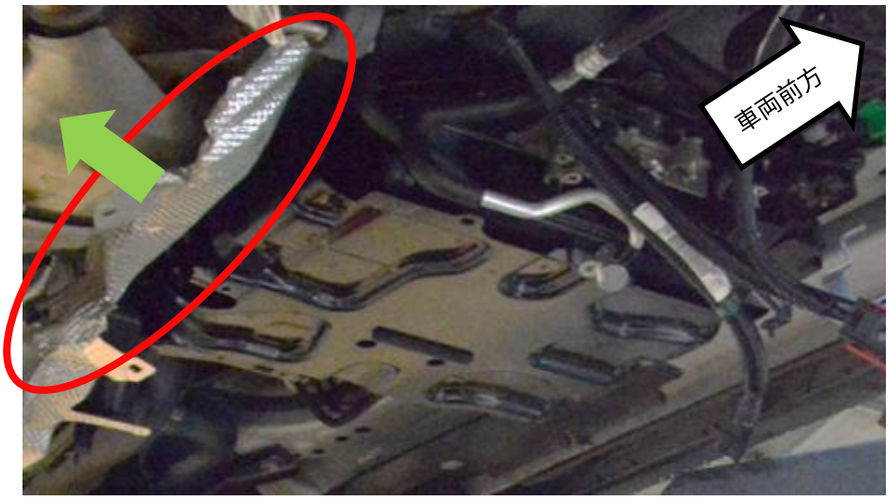


(14) クーラーパイプと付属のハーネスクリップを取外す。



(15) 絶縁手袋を着用し、リアコネクタと付属のハーネスクリップを取外す。

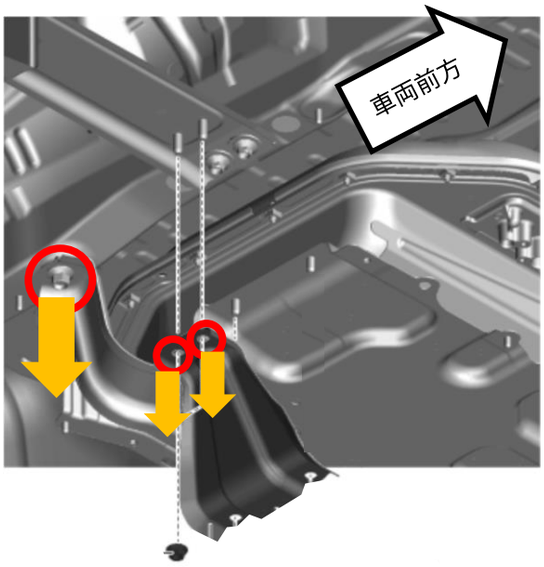
(16) バッテリに干渉するインシュレータやコネクタケーブルをバッテリに干渉しないように避ける。

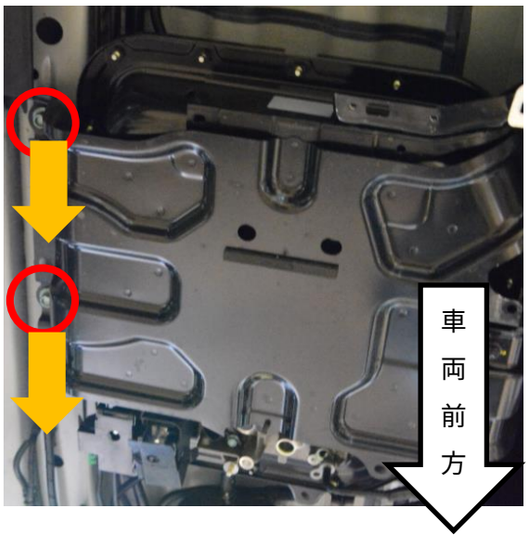


(17) 絶縁手袋を着用し、絶縁工具でMハイブリッドブースト用バッテリを取外す。

- 取外す前にリフタ等をご用意ください。

※ バッテリの重量は15kgを超えるため、取外す際は十分気を付けてください。





6. 取外したMハイブリッドブースト用バッテリの保管

- 消防法に関する注意事項
  - Mハイブリッドブースト用バッテリパック内には消防法で定める危険物第4類第2石油類非水溶性液体が含まれています。
  - この危険物第4類第2石油類非水溶性液体を1か所に保管する場合は、消防法により、その総量に応じた対応が義務付けられているため、本バッテリを保管する場所に他の危険物第4類第2石油が同時に保管される場合は、その総量に応じた消防法上の対応が必要となります。

- 取外したMハイブリッドブースト用バッテリは以下の状況に気を付けて保管してください。安全性が損なわれ、液漏れ、発熱、発煙、発火、感電による事故や、装置の誤作動、故障の原因となります。
  - 涼しく風通しのよいところに保管してください。
  - 直射日光を避け、35°C以下の暗所にて保管してください。
  - 高温60°C以上の場所には曝さないでください。
  - 多湿、火気使用の場所を避け、雨水や海水のかからない所で保管してください。
  - 急激な温度変化を避け、結露しないようにしてください。
  - Mハイブリッドブースト用バッテリの上に、物を置かないこと。バッテリーパックの重ね置きもしないでください。
  - 導電性物質により短絡（ショート）を引き起こすような状態で無秩序に保管しないでください。

7. 取外したMハイブリッドブースト用バッテリの回収依頼

取外したMハイブリッドブースト用バッテリは以下の手順で回収依頼してください。

回収依頼手順

取外し手順に従って、Mハイブリッドブースト用バッテリを取外す。

↓

取外したMハイブリッドブースト用バッテリに
液漏れ、変形、破損がないか確認する。

異常あり → 自再協に連絡する。

自動車再資源化協力機構（自再協）
LiB事業部　LiB回収グループ
お問合せ（TEL）　⇒　0570-000-994

↓ 異常なし

Mハイブリッドブースト用バッテリの充放電端子を
絶縁テープで絶縁保護をし、短絡防止処理を行う。

↓

自再協へ回収を依頼する。
回収依頼　⇒　http://www.lib-jarp.org

※取外し作業に関するお問合せは、下記にお願いします。
マツダ株式会社　カスタマーサービスビジネス企画部　リサイクル推進グループ
E-mail:　Battery_Recycle@mazda.co.jp
受付時間：9:00～17:00 (土日、休日、年末、年始を除く)